

# 平成 18 年度事業報告及び決算について

## I 法人の概要

### 1. 法人名及び本部所在地

学校法人 享栄学園

理事長 堀 敬史

法人設立認可日 昭和 26 年3月 10 日(指令庶第 86 号)

所在地 愛知県名古屋市中区千代田3丁目 11 番 16 号

### 2. 設置学校一覧

設置学校名	所属長名	郵便番号	学校所在地
鈴鹿国際大学	武村 泰男	510-0298	三重県鈴鹿市郡山町 663-222
鈴鹿短期大学	佐治 晴夫	513-8520	三重県鈴鹿市庄野町 1250
享栄高等学校	堀 敬史	467-0003	愛知県名古屋市長久手岩作字三ヶ峯 1-26
鈴鹿高等学校	伊藤 弘	513-0831	三重県鈴鹿市庄野町 1260
栄徳高等学校	近藤 新二	480-1103	愛知県愛知郡長久手岩作字三ヶ峯 1-32
鈴鹿中学校	伊藤 弘	513-0831	三重県鈴鹿市庄野町 1230
享栄幼稚園	杉山 栄子	467-0017	愛知県名古屋市長久手岩作字三ヶ峯 1-26
専門学校享栄ビジネスカレッジ	澤田 富雄	460-0012	愛知県名古屋市中区千代田3-11-16

### 3. 役員の概要

理事(人)			監事(人)			評議員(人)		
定数	実数	任期	定数	実数	任期	定数	実数	任期
6~10	8	5	2~2	2	5	13~21	17	3

理事・監事の別	職名または担当職務	氏 名
理 事	理事長・学園長	堀 敬史
理 事		武村 泰男
理 事		佐治 晴夫
理 事		堀 敬紀
理 事		近藤 新二
理 事		近藤 信行
理 事	常務理事	藤田 敏夫
理 事		古川 敏治
監 事		木宮 和彦
監 事		成田 稔男

### 4. 学生・生徒・園児数 及び 教職員数(平成18年5月1日現在)

学校(園)名	学生・生徒・園児数	教員数	職員数
鈴鹿国際大学	757	39	27
鈴鹿短期大学	295	22	10
享栄高等学校	1,274	69	13
鈴鹿高等学校	1,416	81	5
栄徳高等学校	1,152	58	5
鈴鹿中学校	352	20	3
享栄幼稚園	203	11	1
専門学校享栄ビジネスカレッジ	0	0	0
本 部	0	0	8
合 計	5,449	300	72

## II 事業の概要

享栄学園は創立者堀栄二氏の「誠実で信頼される人に」の建学の精神を基に、実社会に役立つ教育の実践を行っている。

平成18年度は鈴鹿短期大学が創立40周年、鈴鹿中学校が創立20周年を迎えそれぞれ記念行事を行った。鈴鹿中学校は新校舎増築を行い中高一貫教育の一層の充実を図った。また、学園全ての建物についてアスベスト調査を実施し、問題のあった建物については是正した。

#### (1) 鈴鹿国際大学

第3学年で実施のSOP(海外短期留学支援制度)の第1回目が実施された。平成19年度より女子ソフト部が強化クラブとなった。また、平成21年度を目処に学部改組の検討に入った。

- (1) 鈴鹿短期大学  
校名を平成 18 年度より鈴鹿短期大学と変更した。11 月 23 日に創立 40 周年記念式典を行い、記念論文「鈴鹿短大からの発信」を発行した。また、平成 19 年度より子ども学専攻の募集人数を 70 名 (20 名増) とした。
- (2) 享栄高等学校  
土曜セミナーを開始して 4 年目となり、講座の充実と地域連携を深めた。また、タウンサークルも 11 回目を実施し、地域交流活動の発展に努めた。部活動では漫画研究同好会が「第 15 回全国高等学校漫画選手権大会 (漫画甲子園)」に出場した。
- (3) 鈴鹿高等学校  
11 月 16 日人権研究指定校全国発表 (鈴鹿中学校共催) を行った。2 月 8 日三重県の財政的援助団体等の本監査 (含鈴鹿中学校) を受けた。
- (4) 栄徳高等学校  
アスベスト調査の結果、体育館屋根裏にアスベストが使用されているとの調査結果を受け、夏期休業中に体育館屋根の取換工事を行った。また、入学生徒数増により 2 教室の増築等を行った。
- (5) 鈴鹿中学校  
11 月 8 日創立 20 周年記念式典及び講演を実施した。また、中学校棟 (16 教室、理科室、職員室等) の増築と本館を繋ぐ通路等の改装を行った。
- (6) 享栄幼稚園  
林間お泊り保育 (阿智村)、運動会、芋掘り、作品展、音楽会、雪遊び (郡上高原)、生活発表会等を行った。
- (7) 専門学校享栄ビジネスカレッジ  
休校中
- (8) 学園本部  
享栄幼稚園の園則の一部変更を行った。(授業料値上げ:平成 19 年 4 月 1 日より)  
鈴鹿国際大学学則の一部変更を行った。(助教授を准教授等に名称変更:平成 19 年 4 月 1 日より)  
鈴鹿短期大学学則の一部変更を行った。(助教授を准教授等に名称変更:平成 19 年 4 月 1 日より)  
栄徳高等学校学則の一部変更を行った。(教育課程及び授業日数:平成 19 年 4 月 1 日より)  
鈴鹿高等学校学則の一部変更を行った。(教育課程及び授業日数:平成 19 年 4 月 1 日より)  
鈴鹿中学校学則の一部変更を行った。(教育課程及び授業日数:平成 19 年 4 月 1 日より)  
学園研修会を行った。(8 月 24 日)  
学園新任教員研修会を行った。(8 月 1 日)  
学園事務研修会を行った。(7 月 29 日)

### Ⅲ 財務の概要

#### 1. 平成18年度決算について

##### (1) 収入の状況

帰属収入は 5,344,057 千円で、その内訳は学生生徒納付金が 52.1%と最も多く、次に補助金が 36.2%と続く。帰属収入は前年度比 99.8% (△9,742 千円) となった。

##### (2) 支出の状況

消費支出は 5,697,973 千円で、その内訳は帰属収入に占める割合は人件費が 72.2%、教育研究費が 26.6%、管理経費が 6.6%となった。消費支出は前年度比 103.4%の増額となった。

##### (3) 消費収支にみる決算説明

学生生徒数が年比制 96.2%と減少したが、退職金財団交付金の増加で帰属収入は前年度とほぼ同額であった。消費支出では人件費が退職金の増により前年度比 104.0%となり、教育研究費が前年度比 102.5%の増加等で消費収支差額は 608,143 千円の支出超過となった。引き続き厳しい財政状況であるが、今後、短大の改革や大学の定員数の見直し等により改善することを期待したい。

#### 2. 資金収支 (別表)

#### 3. 消費収支 (別表)

#### 4. 貸借対照表 (別表)